

東建パブリニュース

平成29年12月14日

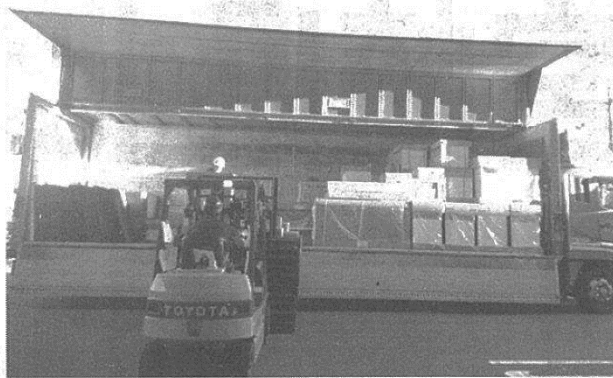
経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年12月12日 日刊工業新聞 P.17

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



アパート内装品の物流を効率化し、建設現場への配送回数を約4割削減する（仕入れ品と自社生産品の混載便）

配送回数4割削減

ナスラック、混載方式に

アパート内装品

【名古屋】ナスラック（名古屋市中区、左右田稔社長、052・232・8030）は、アパート内装品の物流を効率化し、建設現場への配送回数を約4割削減する。仕入れ内装品の一部を仕入れ先から現場への直送をやめ、自社工場に集約して自社生産品と混載する方式に改めた。年間約3800万円の物流コスト削減を見込む。

キッチンカウンター 市西区など全国4カ所
や水回り品などの仕入れの自社工場の倉庫に仕入れ品を集め、キッチンや建具などの自社生産品との混載、もしくは仕入れ品の集約貨物としてチャーター便で

配送する。建設現場1カ所で平均38回だった配送回数を同23回に減らせる。

路線便は値上げに加え、配達時間の正確性がチャーター便に劣る。1回の配送で建設現場に届く荷物量は増えるが、配達時間の正確性を高めれば職人を手配しやすい。現在は配送する内装品を電話やメールで連絡しているが、2018年1月には工程管理システムの改良で常時確認できる仕組みとする。

効率化の対象はアパート建設全体の約6割。鉄骨造や木造のアパートで、鉄筋コンクリート（RC）造は工法が異なるため対象から外した。小型トラック

でしか配送できない現場や集約が難しい地域もある。それでも今後、照明やクロスなど仕入れ先からの直送のままの内装品も集約化を検討し、大幅なコスト削減が見込めれば実施する。